

団体設立目的に共鳴してボランティア初参加 文京国際交流フェスタ ブーススタッフ

公務員 柳 沙綾

今回、私は初めてボランティアに参加しました。以前からボランティアに興味がありながらも、仕事等で都合が合わず参加への一歩を踏み出すことができずにいましたが、日韓アジア基金による募集を拝見し参加を決意しました。

その決め手となったのは、“日韓の若者が協働し、アジアの恵まれない人達を支援するなかで互いを知り、歴史の壁を越えたい”という日韓アジア基金の設立目的に共鳴したからです。

私は、幼少期から海外旅行を通じ様々な国を訪れてきましたが、なかでも韓国が大好きです。日本と韓国の関係は、「近くて遠い国」と表現されるように、歴史認識の点から良好な関係であるとは言えない側面もあります。しかし、私は両国による民間レベルでの交流の活性化が、今後の発展的な日韓関係構築につながるものと考えています。

初めてのボランティア参加ということで当初は不安な部分もありましたが、時には周りの方とフォローし合い、声を掛け合うことでスムーズに実施でき非常に有意義な時間を過ごすことができました。



開始直後・まだ何となくぎこちないですね

ボランティアとは提供するものより、得るものが多くあり、普段の生活では関わるようなキャリアを持つ人と出会うことができます。

また、交流を通じて自分の視野も広がるとともに、新たな気付きや学びを元に人として成長できる点が参加の醍醐味でもあると感じています。

私は、今回のボランティアに参加して、同じ志を持った日韓の若者がひとつになることで、今後の日韓関係に貢献できるとともに、これからの世界を担うべく子どもたちの力になれるのだと強く確信しました。

今年は日韓国交正常化 50 周年という節目を迎えることから、日韓がさらに力をあわせていく必要があるのではないのでしょうか。

今回の参加を契機に、これからもさまざま活動に積極的に参加し社会に貢献していけたらと考えています。

そして、日韓アジア基金の活動がさらに発展し、今後のアジアの未来構築の一端となることを心から願います。



このメンバーで、過去最高の募金を頂きました。